

# 定例教育委員会会議録

(平成28年7月6日開催)

岡谷市教育委員会

# 定 例 教 育 委 員 会

日 時 平成28年7月6日(水)

午後1時30分

場 所 保健センター研修室

署名委員 太田委員、高木委員

## 【 次 第 】

### ○ 開 会

### ○ 教育長報告

### ○ 報 告

1. 第42回全国高等学校総合文化祭「2018信州総文祭」について【資料No.1】 (教育総務課)

### ○ そ の 他

・行事等について(各課)

・その他

### ○ 視 察

・岡谷西部中学校

【次回開催予定】 8月9日(火) 定例教育委員会13時30分 601会議室

## 出席委員

教育長 岩本 博行、職務代理者 草間 吉幸、教育委員 橋爪 園美、教育委員 小野 繁男、  
教育委員 太田 博久、教育委員 高木 千奈美、

## 事務局(説明員)

教育部長 吉澤 洋人、教育部教育担当参事 橋爪 哲也、教育総務課長 帯川 豊博、  
生涯学習課長 小坂 英之、スポーツ振興課長 小松 厚、冬季国体推進室長 小口 智行  
教育総務課統括主幹 山田 勝由紀、教育総務課主幹 高橋 卓、教育総務課主査 保科 圭吾

## <会議録>

### ○開 会

岩本教育長： 梅雨明けはまだですけど、今日の日差しはとても強烈で、ちょっと外を歩いてみましたけれども、肌がひりひりとなりました。暑さに負けずにまた頑張っていきたいなと思っております。それではただいまから7月の定例教育委員会を始めたいと思います。本日の署名委員は太田委員と高木委員にお願いいたします。

最初に私から教育長報告をさせていただきます。

### ○教育長報告

まず、私からですけど、昨日岡谷小に残っていた教材・備品等をそれぞれの学校にもらっていただきました。色々な学校が来ていただいて、多くのものを持って行っていただいたわけですけど、からっぽになった岡谷小をみるのは、非常に辛さもありますが、教材・備品等をまた新たに他の学校の子も達のために活用されるというのは、とても大事なことだと思っています。私共も是非そういったものをこれからも大事に使っていただくことを先生方をお願いしながら岡谷小というものをしっかりと心の中に刻んでいきたい。そんなことを思っているところであります。

続いて、教育総務課から報告をさせていただきます。

平成30年8月7日から11日の5日間にわたり長野県を会場として、第42回全国高等学校総合文化祭「2018信州総文祭」が開催されます。この文化祭は高校の文化系クラブの全国大会で、とても大きなイベントであります。岡谷市では、放送部門が行われます。岡谷南高校、岡谷東高校など県の強豪校として活躍している放送部門が岡谷市で行われるということでございます。

去る6月14日に長野県庁講堂において、同文化祭の実行委員会設立会及び、第1回実行委員会が開催されました。私は、開催市の教育長ということで、実行委員会の副会長として委嘱をされました。ちなみに今井市長さんは実行委員会の名誉副会長となります。本日このあと、事務局より報告事項で詳細に触れさせていただきますので、よろしく願いいたします。

次に生涯学習課から夏休みの学童クラブについての報告でございます。

7月下旬から小学校は夏休みに入るわけですが、学童クラブは休業日として、朝の7時45分から夜の6時45分まで11時間児童を預かることとなります。学童クラブの利用者が増えている状況は前回神明小学校のクラブをご覧いただきましたが、新たなショッピングセンターのオープンもありまして、さらに利用が増えることも想定されています。

現在の休業日の利用登録児童数は全体で586名で、登校日の470名を100名以上上回っており、夏休み中も多く利用が見込まれています。

夏休みの学童クラブでは、指導員の確保が大きな課題になります。長時間にわたることから、臨時の指導員の勤務時間を通常の3時間から6時間程度に延ばして対応するほか、学校の特別支援学級の支援員や給食の調理員、さらに図書室の先生方にも応援をお願いしているところであります。

また、諏訪市にある県福祉大の学生等がアルバイトで入るほか、市内の中学生が職業体験として児童との交流を行います。

さらに、ボランティアグループが全小学校のクラブで読み聞かせで協力いただく予定になっています。このように大勢の方の協力をいただく中で、何より安全第一に、保護者の皆さんが安心して子どもを預けられる体制を整えていきたいと考えているところであります。

岩本教育長： 私からの報告は以上でございますが、報告について何かご質問等あればお願いします。

草間職務代理： 11時間ということですが、1人のお子さんでは平均してどのくらい利用されていますか。

事務局： 一概には言えませんが、パートにお勤めの方で半日という方もいらっしゃいますし、中にはフルに働いていらっしゃる方で、会社が始まる8時前に預けて、5時以降に迎えに来られる方もいらっしゃいます。

岩本教育長： 他に何かご質問等がありますか。無いようですので、本日の報告事項に入ります。

## ○報 告

### 1. 第42回全国高等学校総合文化祭「2018信州総文祭」について（教育総務課）

岩本教育長： 報告事項1について事務局より説明をお願いします。

<事務局より第42回全国高等学校総合文化祭「2018信州総文祭」について報告。>

岩本教育長： 何かご質問等ございますか。

小野委員： 宿泊者数は2,400人ということですが、具体的にはどうやって対応するのでしょうか。

事務局： やはり岡谷だけでは吸収できないので、業者が入って斡旋していくかたちになりますので、諏訪の平の中で吸収できればと考えております。

岩本教育長： とにかく大きな大会ですので、岡谷市を売っていくにはとてもいい機会なので、私共も期待をしているところでありますが、準備は大変だと思いますので、今からしっかりやらなければいけないという思いを持っております。また、おいおい準備段階の中で教育委員の皆様からもお知恵を拝借することがあると思いますので、よろしくお願ひいたします。この件につきましては以上になります。

次に橋爪委員さんから報告がありますのでお願ひいたします。

### 2. 岡谷田中小学校親子ふれ合い会のまとめ（橋爪委員）

<橋爪委員より別紙資料により岡谷田中小学校親子ふれ合い会について報告。>

橋爪委員： 岡谷田中小学校については以上となります。引き続き7月4日（月）にも小井川小学校にて親子の活動を実施しましたので、その件は太田委員さんから口頭で報告をお願ひいたします。

太田委員： 7月4日（月）に行われた小井川小学校での活動については、これから関わったメンバーで反省会を行いましてまとめていきたいと思っておりますので、とりあえず今日のところは報告をさせていただきます。今回の小井川小学校は1年生2学級に対して低学年参観の学級懇談会の時間の最初約25分を使って実施いたしました。結果としては、まだ詳しくはまとめておりませんが、親子で交流するファシリテーションやっただ後に、通常の夏休みの注意事項等を行う学級懇談会を実施するスケジュールになっていましたが、学級懇談会が終わった後に担任の先生から「通常の学級懇談会だと保護者の皆さんは静かに話を聞いているだけですが、最初からニコニコしていて、とても和やかな雰囲気の中で始められて、取り組むことが出来たので良かったです。」という感想をいただいたので、総体としては良かったのかなと感じております。

ただし、課題もいくつかありまして、1つは、打合せの段階で、学校からの要望を受けて、それを踏まえてスケジュールを組ませていただきましたが、実際に1学年の先生方と打合せをさせていただいたら、事前に伺っていた内容とだいぶ違うところがありまして、急遽内容変更と時間短縮をさせていただいき、結果的には、保護者の皆さんが夏休向けの学級懇談会をクラスごとにやっている最中に1年生のお子さんの読み聞かせを図書館でやっていただくということになりましたが、そちらの方にも私共が関わって、お手伝いをするという変更になりました。

それから、当日の話が完全に関係者に行き渡っていない部分がありまして、事前の打合せを誰とどのタイミングでどこまでするのかと確認しながら進めていく必要性がありました。岡谷田中小学校と比べたときに一番大きな違いだったことは、学級代表といいますが、学級の方で主に動いてくださる保護者の方がどこまで承知していただいていたのかが分からなくて、岡谷田中小学校の時は、そこまで完全に連絡が行き届いていて、先生方も保護者の皆さんも完全に意図を承知して一体になって取り組んでいたということを感じましたが、今回はそれぞれがそれぞれの立場で少しずつ意図がずれてという感じがしましたので、その辺のところは今後の課題だと感じました。託児については1人利用がございまして、地元の人を手配していただいて順調に問題なく過ごせたと思います。

高木委員：読み聞かせのところだけ付け加えさせていただきます。学校側も最初からお子さんが先に下校してしまって、お母さん方だけ残って懇談会をするということは、お母さん方も落ち着かず早く帰りたいという方もいらっしゃるので、できればお子さんもお母さんと一緒に帰れるような学級懇談会が望ましいということで、今回は、お子さんも下校しないで別室で地域の方に来ていただいて、読み聞かせをする時間を取っていただく形をとりました。それでどのお母さん方も余計に落ち着いて懇談会に参加できたと思います。読み聞かせも図書館で活動しております「お話大好きポーポーの木」というボランティア団体に派遣をお願いして、地域の方に来ていただきましたが、こんな機会なので本の読み聞かせだけではなく、耳だけでお話を聞く、お話の語りも是非していただければとお願いしました。当日、最初はにぎやかだったお子さん達も、お話の語りが始まると、とても集中してお話を聞き始めて、最後までしっかりと話を聞いている姿があって、子ども達の聞か力がこれだけあるということを見せていただきましたし、地域の方がそういう活動に参加してくださって学校を支えてくださるということも、コミュニティースクールの1つの形になっていくのかなど期待をしたところです。

岩本教育長：ありがとうございます。もう少し話を深めたいところですが、この後、西部中学校の建築現場を見せていただくことになっておりますので、一旦中断ということでよろしいでしょうか。帰って来た後にもう少し話を深めたいと思います。

#### < 視 察 >

再開 15:20

岩本教育長：最初にその他の事項をやってから、先ほどの学級懇談会について話を深めたいと思います。それでは、事務局からお願いします。

#### ○その他

- ・行事等について（各課）

<各課より行事予定について説明>

- ・その他

<次回開催日の調整>

岩本教育長：それでは、先ほどの続きを再会したいと思います。小野委員さんどうでしょうか。

小野委員：2年くらい前から話があって素晴らしく進んできていて、皆さんの行動力には感心しているところです。こういったことが、全小学校で出来るだけ早く形になればいいなと思います。どうやって進めて行くのかは難しい部分ではありますが、行政の中でやっていく形になるのではなかと考えております。いずれにしましても、ここまでもってきたということは本当に凄いなと思いました。

草間職務代理：私も小野さんと同じ意見です。今これを知っている学校の保護者は、岡谷田中小と小井川小と湊小で、7月23日にも神明小で実施されると思いますが、実施していない学校の保護者など代表の方に様子を見ていただいて、たぶん今のこのメンバーだけでは限界がありますので、いずれ全校に広げるためにはどういう方法がいいのかを考えながらやっていかないと、今後他の学校から依頼がきた時に対応ができなくなる場合がでてくるのではないかと思います。

ただし、良い取組みなので、こういうことをやっているということを保護者の方に知ってもらうように、全然取組みを知らない学校の保護者の方にも見学してもらうのも1つの方法ではないかと思います。ただ、反応が良すぎて全校でやってくださいという対応ができなくなってしまうかもしれませんがどうでしょうか。

橋爪委員： まだ全校に対応する自信がなくて、今度実施する神明小の関係の方の中に地域の方とかコミュニティースクールの関係で今後お力添えをいただく方達にお声掛けをして見学に来ていただくように動くというのはどうでしょうか。

草間職務代理： 例えば神明小に隣接する長地小学校や上の原小学校に声掛けするのはどうですか。

橋爪委員： 今の状況では対応出来ないため、広げられないです。

太田委員： 考え方として、2つ方向性があるけどどちらかに絞っていかなければいけないと思います。1つは、今のこのぐらいのところで止めておく。簡単に言うと1年生の初期の段階で保護者の方が出来るだけ早く顔と名前を覚えてコミュニケーションを取りやすくするように土台作りをするというレベルで止めて広げていくという方向性と、もう1つはそれをきっかけとして保護者の方が色々なことを学ぶということに繋げて行くNPプログラムという方向性に進めて行くという2つの方向性があると思います。本来の意図の方に持って行くとする、当面は対象校を絞り込んでやっていかないと人出の問題もありますし、それから意図や目的をどれだけ理解していただけるかということが学校の先生によってだいぶ違いが出てきますので、ここで対象が4校になったので、1回そこら辺を色々な形ではっきりさせていかないと、ちょっときつくなっていくように感じます。

橋爪委員： 学校は今の段階では増やせないと思います。元々教育長先生からも「湊なら湊で深めなさい」と言っていたので、本当にそうしたいと思って進めてきましたが、ただ、頂いた機会を無駄にしたいくないという思いもありまして、結果4校に広がっています。ネーミングもまだ決まっていないですし、そこら辺も事にあたって私達が決めるのではなく、皆さんのお知恵を集めて良いネーミングが決まればいいかなと思っています。

岩本教育長： 私の私案の中では岡谷版コミュニティースクールの中に学級懇談会の活性化と育児とかしつけとかを気軽に懇談が出来るようにすることを入れていく必要があると思っています。太田委員さんがおっしゃったように第一段階としてまず仲良くなるころは、どの学校でも別にファシリテーターの専門性がなくても学校の先生がその気になればある程度の事は出来ると思います。このプログラムにそってやるだけでもだいぶ違うので、そういったことはどんどん取り入れていくし、また、先生でなくても地域でそういったことが堪能な方がいて、そういう方にリーダー役をやっていただいて進めて行くということは十分可能な事だと思います。それをきっかけにしながら少しずつ子育てということについて相談が出来たり、相談を聞いてくれるという関係の資源を有効に使って広めていくということは可能かなと思います。もう少し第2段階のところはどの程度出来るのかということをやっておかないと、すぐにはとても無理なことなので、子育てサポーターの会とも連携してやっていく必要があるのでしょうか、そういったところの連携も少しモデル校で深めて、可能性を皆さんで検討する中でももう少し広げられるようであれば、コミュニティースクールの中で広げてもらうとかそういう道筋が必要かなと思います。

それから、私が一番気になるのは、親御さんが来られない家があるので、その時に子どもの思いは切ない思いがあるのかなと思います。そこら辺のところの現状はどうでしょうか。担任の先生がそこをどんな風にカバーしてくださっているのでしょうか。

橋爪委員： 子どもだけの参加というようにはならない様に配慮はさせていただいています。

岩本教育長： でも親御さんが例えば病気だとか、あるいは出産でいないとか色々な事情で来られないということもあるだろうし、最初から親がいない、お母さんがいない家だってあるわけで、お父さんが仕事で忙しくて来られないという場合にどうやってその子をカバーしていくか。そういった心のきめ細やかなケアというのか、そういった家があるということを前提でやっていかなくてはならないので、それこそ担任の先生とよく打合せをして、そういった所こそ大事にしていきたいと思っています。せっかく良い事やっても、切ない思いをするお子さんがいるのは申し訳ないと思うので、これを新たな1つの課題として私達もどんな様子なのかを見させ

ていただきたいと思ひます。

いずれにしても、学校の先生方に聞いても、とても良い取組みで、保護者の方が仲良くなるということは学校にとっても本当にありがたいことですので、この取組み自体は非常に評価をされてきているところです。評価がされてきだすと、今度は逆に色々課題が見えてきて、いくつか乗り越えなければいけない山もありますので、そこら辺のところは力を合わせて乗り越えて行きましょう。

予算面ではまた私達も考えて行きたいと思ひていますが、託児とかそういうものの予算というものは付きますか。

事務局： 基本的には利用される方が負担すべきものだと思いますので、予算計上していても財政サイドで認めてもらえないと思ひます。

岩本教育長： 受益者負担の原則で考えると難しいということですね。だけど、PTA会費というのは、PTAが1つになって親睦を深めて、子どものためにというのがPTA会費だと思いますので、PTAの役員さんとも話をさせていただいて協力していただく方向を作るというのも1つの手かなと思ひます。PTAのお金として出していただければ全然問題ないという気がします。

橋爪委員： 小井川小がそういう形です。岡谷田中小と神明小は統合の関係の筋道があったので、小井川小については、最初にどこからお金が出るのかを確認しました。校長先生のご理解のもと、PTAの役員会に出向いて説明をさせていただき、了解を得てPTA会費の予備費を充てていただきました。

岩本教育長： PTA会費でだしていただくのが一番無難かなと思ひます。

また、課題は課題として1つずつ良い方向へ持って行くように頑張りましょう。そして、いずれにしても始めて良い結果が出ているということは事実ですので、これをもう少し深めて私達が一番願っている子育てのところまでたどり着けばいいかなと思ひます。

橋爪委員： 今回の神明小は親御さんが来られないというパターンはなく、子どもだけで親御さんがいないという状況は防げています。それと3クラスあるうちの2クラスは岡谷田中小と全く同様、親子で約1時間の活動なのですが、1クラスは子どもは担任の先生と別室で別の活動をするようになっており、ファシリテーターは親御さんだけを対象に交流促進のプログラムをやってほしいという要望をいただいています。そこはまさしくNPの有効性を活用できるころなので、中島先生と私でペアーを組んでそのクラスでは保護者対象の内容を行いたいと思ひます。初めて約1時間ものでNPプログラムの手法を活かしたファシリテーションが実施できるかと思ひます。

岩本教育長： ありがとうございます。

それでは以上をもちまして7月の定例教育委員会を終了とします。

終了16時30分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

平成28年8月9日

教 育 長

岩本博行

署 名 委 員

太田博久

署 名 委 員

高木千奈美

調 製 職 員

吉澤洋人

## 岡谷田中小学校 1年生「親子ふれあい会」のまとめ

対象：岡谷田中小 1年生児童と保護者

目的：親も子もお互いの名前と顔がわかり親しみを増す

日時：平成 28年 5月 29日（日曜日） 9時～10時

場所：1の1＝少人数教室 1の2＝集会室

ファシリテーター：1の1＝中島るみ子さん&学級担任（武田 T）

1の2＝太田委員&学級担任（河口 T）

参加者数：1の1＝31家庭中 24家庭（77.4%） 1の2＝31家庭中 29家庭（93.5%）

内容：「キャッチ」「どっち？どっち？ゲーム」「教えて聞いてゲーム」「全員でなべなべ底抜け」等

託児：「ファミリーサポートセンター事業」を利用して対応。（利用者 7人。経費負担は教育総務課）

ファシリテーター&関係者の振り返り：

- ・担任の先生とファシリテーターとの協力体制が効果的だった。
- ・緊張がほぐれ易い内容、親子のスキンシップを多く取り入れた内容、相手の個性を知る内容、クラスの一体感を呼び起こす内容、NPの精神による他者尊重のムードづくり等が効果的だった。
- ・父親の参加があったが、無理のない感じで良かった。
- ・PTA 学級代表の方の協力（受付して名札をつける）により、スムーズな開始ができた。
- ・初めは同じクラスの人かどうかもあやふやだった関係から笑顔で会話が弾む関係へと変化した。
- ・インタビューのやり取りが聞こえにくかったので今後はマイクを使う等の工夫が必要。
- ・託児の対応があったことで親がその子だけに向き合うことができた点で効果が大きかった。

成果：まだ全員ではないが、ある程度、親も子もお互いの名前と顔がわかり親しみを増すことができた。

参加者の感想：

- ・楽しく交流できて良かった。（多数）今まで中で一番と言っていいほど楽しいふれあい会だった。
- ・全員ではないが、クラスの人顔と名前がわかってきた。違う保育園からの全く知らない人とも少し話せた。他の子どもの名前や保護者の方を知ることができて良かった。（多数）  
⇒話したことのなかったお母さんたちと運動会で話せた。  
⇒学校の話をしてくれる子どもの話を今まで以上に理解してあげられるようになった。
- ・普段（兄弟姉妹がいて）2人きりでふれあって過ごす時間がないので貴重な時間だった（多数）
- ・「どっち？どっち？」が特に楽しかった。他の子どもやご家族の日常（同じところ違うところ）を知る事が出来て参考になった。
- ・「教えて聞いて」は、話す内容を決めてもらえたので話し易かった。
- ・ファシリテーターのリードがとても良かった。テンポが良かったので子どもが飽きなかった。
- ・まだまだ顔と名前が分からない方が多いのでまたこういう企画があるとよい。
- ・今後も、1年生はこのような企画をすると思う。
- ・体を動かしてばかりで疲れた。後半は、座って茶話会の方が良かった。
- ・行事のある日だったのと、翌週が運動会だったので、忙しい思いをした。
- ・親同士の交流は今回はあまりできなかった。全ての人とは話せなかった。

課題：

- ・今回の「親子での活動」を足がかりにして、「保護者対象」の交流促進の機会や子育てについて考え合う機会へと発展させられるとよい。（次は 9月 20日の参観日を検討する）
- ・ファシリテーターの確保や各学校区在住の託児サポーターの手配を含め、今後は全体のシステムを構築していく必要がある。